

MonsterAdapter LA-KE1 ファームウェアアップデート内容

2024.02.21 Ver.05

[改善点]

- 絞りプレビュー（被写界深度確認）機能を追加（※この機能を使用するには、カスタムキーに機能を割り当ててください。）
- 動画撮影時の絞り制御に対応
- 対応レンズの追加
 - smc PENTAX-F 50mm F1.7
 - smc PENTAX-FA Macro 100mm F2.8
 - smc PENTAX-F* 300mm F4.5 ED [IF]
 - Samsung/Schneider D-XENOGON 10-17mm F3.5-4.5 ED FISH-EYE
 - HD PENTAX-DA 55-300mm F4.5-6.3 ED PLM WR RE

2023.06.12 Ver.04

[改善点]

- フォーカスアルゴリズム「G Driver」のバグ修正
（一部のカメラで遠距離の被写体を追尾する際にピントが合いにくい現象の修正）
- 対応可能レンズを追加
 - HD PENTAX-FA 50mm F1.4
 - smc PENTAX-FA 50mm F1.4 Classic
 - smc PENTAX-FA Macro 100mm F3.5
 - HD PENTAX-DA 560mm F5.6 ED AW
 - smc PENTAX-FA* 600mm F4 ED [IF]
 - smc PENTAX-DA FISH-EYE 10-17mm F3.5-4.5 ED [IF]
 - smc PENTAX-DA 17-70mm F4 AL [IF] SDM
 - smc PENTAX-FA* 28-70mm F2.8 AL

2023.01.06 Ver.03

[改善点]

- 新フォーカスアルゴリズム「G Driver II」追加搭載、AF性能を大幅に向上（対応カメラ機種一覧は下記参照）
- 対応レンズの追加（合計60本以上）
- リアコンバーター2種類に対応
- 一部のFA50mmF1.4において、AFが正確に動作しない現象を修正
- 全体的な動作安定性の向上

G Driverは、MonsterAdapterが独自開発したピント検出・AF駆動アルゴリズムです。ソニーEマウントカメラ(※1)の位相差検出・演算能力を最大限に活用し、これまでよりも高速かつスムーズな動作で正確にピントを合わせられるようになりました。G Driverは当初、α1、α7R IV、α7 IV、α7c、α6600といった最新機種のみに対応していましたが、G Driver IIではより多くのものに対応できるようになりました。(※2)(※3)(※4)

※1 [G Driver] 対応機種：

SONY α1
SONY α7R V
SONY α7R IV (ILCE-7RM4A)
SONY α7R IV (ILCE-7RM4) (Ver. 1.20) 以降
SONY α7 IV
SONY α7S III
SONY α7C
SONY α6600 (Ver. 1.10) 以降

※2 [G Driver II] 対応機種：

SONY α9 II
SONY α9
SONY α7R III (ILCE-7RM3A)
SONY α7R III (ILCE-7RM3)
SONY α7 III
SONY α6500
SONY α6400
SONY α6100
SONY ZV-E10

※3

G Driverはカメラ側の対応が必要です。対応機種は上記リストを参照してください。対応機種ではアダプターが自動的に認識してG Driverを有効にし、それ以外の機種では従来の駆動アルゴリズムをそのまま使用します。

※4

レンズ側の仕様上、G Driverはボディ内モーターAFレンズにのみ対応しています。

レンズ内モーターAF (SDM/DC/PLMモーター) を採用しているレンズは従来の駆動アルゴリズムをそのまま使用します。

両方のAF駆動モードに対応したレンズの場合、ボディ内モーターAFモードはG Driverで動作し、レンズ内モーターAFモードは従来の駆動アルゴリズムをそのまま使用します。

2022.2.09

Ver.02

[改善点]

- KAF3のSDM/DC(レンズ内モーターAF)に対応
- KAF4の電磁絞りに対応
- 対応レンズで「AF駆動モード切り替えレバー」が使用可能
- 対応レンズを新たに27本追加